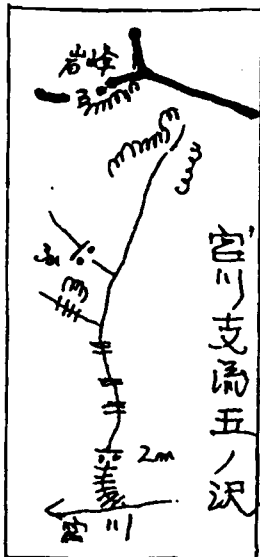


## 宮川支流五ノ沢(仮称)

1989年8月12日

山本不動尊から徒歩10分程で五ノ沢(仮称)出合に着く。五ノ沢は、水量こそ少ないが、水のきれいな沢である。5:25遡行開始。

出合すぐのナメを越すと、2mの小滝。細かなホールドを拾って登る。結果的に



いうと、この小滝が五ノ沢唯一の滝。あとは小さなナメが切れ切れに出てくるだけであった。

沢の切れ込みが大きくなってきたあたりから、沢には大小の石がゴロゴロしてきた。どこかで崩落があったようである。水はその間を時々伏流となりながら切れ切れに続いている。やがて右岸から支沢が合流する。このあたりから兩岸の随所に崩落地が見られるようになった。崩落の規模は大きくないが、個所が多い。そのうち水流はすっかり崩落した土砂の下となってしまった。

兩岸に所々崩落した岩場が見えてくると、もう源頭である。最後は右岸の岩場のすそづたいに登り、5:55尾根に出る。

[タイム] 山本不動尊(5:10)→五ノ沢出合(5:25)→五ノ沢終了(5:55)

## 鬼ヶ煩沢支流イの沢

1989年8月12日

イの沢(仮称)は居伝金部落のそばで鬼ヶ煩沢と合流する小沢である。ただ、地図とは合流点がちょっと異なるようである。鬼ヶ煩沢の湾曲部にはなく、その下流部で合流している。

11:35遡行開始。出合には2mの小滝がかかる。そしてその小滝を両側からガードするような感じで築塊岩の岩塔がそそりたち、切れ込みも深く、ちょっといい雰囲気。しかしそれは出だしだけで、あとは平凡な登りが源

